

令和7年度事務事業一覧表

課名: 美化センター

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	清掃総務運営事務事業		
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業	両施設の維持管理	-
2	清掃総務運営事務事業	美化センター運営事務	②
3	美化センター維持管理事業	管理棟及び付属施設の維持管理	-
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業	し尿処理手数料、ごみ処理手数料等の賦課徴収事務	-
5	ごみ収集運搬事業	可燃ごみ、資源ごみ等収集事業、剪定枝収集運搬事業	-
	ごみ処理事業		
6	リサイクルセンター運営管理事業	リサイクルセンター運営管理事務	-
7	し尿収集運搬事業	汲み取りトイレ及び仮設トイレ等のし尿の収集運搬業務	-
8	し尿処理事業	し尿処理施設の維持管理	-
9	し尿処理施設維持整備事業	し尿処理施設の機能維持のための機器の補修整備及び定期点検	-
10	し尿処理施設更新事業	第二期ごみ処理広域化実施計画に基づくし尿処理施設の更新の実施	③

令和7年度事務事業一覧表

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標 (SDGs)																	
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17	
	清掃総務運営事務事業																		
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業												○				○		
2	清掃総務運営事務事業												○				○		
3	美化センター維持管理事業												○				○		
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業												○				○		
5	ごみ収集運搬事業												○				○		
	ごみ処理事業																		
6	リサイクルセンター運営管理事業												○				○		
7	し尿収集運搬事業												○				○		
8	し尿処理事業												○				○		
9	し尿処理施設維持整備事業												○				○		
10	し尿処理施設更新事業						○	○					○	○	○	○			

予算事業名	清掃総務運営事務事業				事業番号	05 - 15 - 01					
細分事業名	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業				シート作成日	令和7年8月12日					
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	02	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—		
			部門	—		
			大施策	—		
			中施策	—		
			施策目標	—		
	事業の概要		根拠法令・条例等	—		
			個別計画等	—		
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—	実施項目名	—
			目的 (何のために)	虫窪スポーツ広場及び西久保ゲートボール場の適正な維持管理を行う。		
			対象 (誰を・何を)	虫窪地区住民・西久保地区住民・町民スポーツ団体		
		内容	ごみ焼却処理施設の建設、し尿旧投棄場跡地の地元還元施設として整備した両施設の管理運営を行う。			

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	1,510	1,553	1,607	1,588	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
		一般財源	1,510		1,553	1,607	1,588	
	職員人数 (概算職員数)	人	0.10	0.12	0.10	0.10		
	人件費計 (b)		千円	559	5,312	474	495	
総事業費 (a) + (b)		千円	2,069	6,865	2,081	2,083		
事業費内訳 (千円) R 07 年度		虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場水道料25千円、虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場草刈委託料886千円、用地借上料677千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値		
		—				—		
指標値	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	利用団体数 (虫窪及び西久保)	団体	—	12	12	12	12
	活動指標 (活動量)	利用日数 (虫窪及び西久保)	日	計画値	100	100	100	100
				実績値	194	178	—	—
	成果指標 (達成度等)	利用率 (利用日数/365)	%	目標値	27	27	27	27
実績値				53	49	—	—	
達成率				196.3%	181.5%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (C h e c k)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	④ 成果を計ることはなじまない		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである		
過去の外部評価等における指摘事項	—				
主な改善経過 (過去4年間)	R04：虫窪スポーツ広場駐車場フェンスの修繕を行った。				
課題	スポーツ広場、公園等との一元管理することにより効率的な利用を図ることを検討する必要がある。				

改善 (A c t i o n)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
		理由	引き続き、事業の継続が必要であり、地元還元施設として維持管理していくべきである。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	地元還元施設を適正に維持管理を行う。						
		R08年度	地元還元施設を適正に維持管理を行う。						
	R07年度改善事項	草が繁茂する時期に草刈業務委託を行い、適正な施設の維持管理に努めた。							
	記入日								
	令和8年3月23日								

予算事業名	美化センター維持管理事業				事業番号	05 - 15 - 03					
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月12日					
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	03	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

計画 (Plan)	総合計画	柱	—			
		部門	—			
		大施策	—			
		中施策	—			
		施策目標	—			
	事業の概要	根拠法令・条例等		—		
		個別計画等		—		
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
		目的 (何のために)	美化センター管理棟及びその附属施設の維持管理			
		対象 (誰を・何を)	し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等			
内容		美化センター管理棟の維持管理及びその附属施設の保守点検、清掃等を実施する。				

実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	2,187	2,044	2,081	2,361	
			国庫支出金	千円	346			
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	千円	1,841	2,044	2,081	2,361		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.31	0.46	0.50	0.50		
	人件費計 (b)	千円	1,515	5,312	2,811	1,951		
総事業費 (a) + (b)	千円	3,702	7,356	4,892	4,312			
事業費内訳 (千円) R 07 年度		需用費151千円、役務費393千円、使用料及び賃借料317千円、工事請負費1,500千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値		
		—				—		
指標値	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	開庁日数	日	—	310	310	310	310
	活動指標 (活動量)	事業費	千円	計画値	857	635	2,361	2,000
				実績値	2,044	2,081	—	—
	成果指標 (達成度等)	床面積あたりの事業費 (事業費/447㎡)	%	目標値	1,631	1,631	1,631	1,631
実績値				5,282	4,655	—	—	
達成率				323.9%	285.4%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない	
有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある

過去の外部評価等における指摘事項	-
------------------	---

主な改善経過 (過去4年間)	<p>R03: 「管理棟屋上防水修繕」「各部天井補修工事」「各部天井塗装工事」「場内区画線設置工」を実施した。</p> <p>R04: 「管理棟トイレ修繕」「管理棟男子トイレ清掃用水洗設置修繕」「管理棟エントランス照明器具交換修繕」「美化センター構内樹木伐倒委託」「美化センター構内危険樹木伐倒業務委託」を実施した。</p> <p>R05: 「管理棟電気漏電箇所改善修繕工事」「美化センター構内樹木伐倒委託」「美化センター構内蜂の巣駆除及び危険樹木伐倒委託」「管理棟西側屋上防水工事」を実施した。</p> <p>R06: 「美化センター構内通路舗装修繕」「管理棟事務室エアコン取替修繕」「美化センター管理地内樹木伐倒業務」を実施した。</p>
----------------	---

課題	<p>施設及び場内の樹木等の維持管理費がかかる。</p> <p>し尿処理施設更新の延期に伴い、施設老朽化への対応が必要。</p>
----	--

改善 (Action)

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	引き続き、事業の継続が必要であり、維持管理していくべきである。						

課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	管理棟建物や設備、構内の樹木等について、引き続き注視を行いながら必要に応じて修繕等を実施。
	R08年度	管理棟建物や設備、構内の樹木等について、引き続き注視を行いながら必要に応じて修繕等を実施。

R07年度改善事項	美化センター業務が継続して運営できるよう、緊急性・優先度を考慮した修繕（外灯修繕・危険樹木伐木）を実施し、施設・設備の維持管理に努めた。
記入日	
令和8年3月23日	

予算事業名	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業				事業番号	05 - 15 - 04					
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月12日					
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	04	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—			
			部門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	事業の概要	根拠法令・条例等		大磯町廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
		個別計画等		—			
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—		実施項目名	—
		目的 (何のために)		町民生活の公衆衛生の向上			
		対象 (誰を・何を)		し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等			
内容		し尿、ごみ及び動物の死体等の処理手数料の賦課徴収を行う。					

実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	538	587	655	301	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	538	587		655	301		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.74	0.70	0.88	0.97		
	人件費計 (b)	千円	2,799	5,312	3,790	5,127		
総事業費 (a) + (b)	千円	3,337	5,899	4,445	5,428			
事業費内訳 (千円) R 07 年度		賦課徴収事務消耗品代8千円、賦課徴収事務印刷製本代100千円、賦課徴収事務手数料193千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値			
指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)	
指標値	対象指標 (対象者数等)	件	汲み取り賦課件数	200	200	180	180	
	活動指標 (活動量)	件	計画値	200	200	180	180	
			実績値	183	165	—	—	
	成果指標 (達成度等)	%	目標値	100	100	100	100	
実績値			100	100	—	—		
達成率			100.0%	100.0%	—	—		
定性的成果		—						

評価 (C h e c k)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている			
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある		
過去の外部評価等における指摘事項	-				
主な改善経過(過去4年間)	各種手数料の滞納繰越を防止し現年度での収納にするため、必要に応じて未納者への訪問徴収を行った。令和元年度の現況調査により、し尿くみ取り台帳の更新を行い、以降継続して台帳管理を行っている。手数料改訂に伴う対応を行った。				
課題	町外への転出者等に対する対応の検討が必要である。常習未納者への訪問徴収。				

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	引き続き、事業の継続が必要であり、適正に賦課徴収を行う必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	美化センター各種手数料の滞納繰越を防止し現年度での収納にするため、必要に応じて未納者への訪問徴収等を実施する。						
	R08年度	美化センター各種手数料の滞納繰越を防止し現年度での収納にするため、必要に応じて未納者への訪問徴収等を実施する。						
R07年度改善事項	美化センター各種手数料の滞納繰越の防止及び現年度での収納にするため、戸別訪問を継続して実施した。また、従来の納付書による納付から口座振替への切替勧奨を行い、次年度に向けて計画的な収納事務に努めた。							
記入日	5年ごとの定期的な見直し検証を行い、環境審議会の答申結果を踏まえ、一般廃棄物処理業者への許可手数料及び一般廃棄物の処理手数料の改定を行った。							
令和8年3月23日								

予算事業名	ごみ収集運搬事業				事業番号	05 - 15 - 05						
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月12日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	01	事業開始年度	昭和53年度（不燃ごみ）昭和60年度（可燃ごみ）
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	柱	—			
		部門	—			
		大施策	—			
		中施策	—			
		施策目標	—			
	事業の概要	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
		個別計画等		大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画		
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
		目的 (何のために)		排出された廃棄物を適正に収集することにより、衛生的な生活環境の保全を図る。		
		対象 (誰を・何を)		全町民		
内容		一般家庭から排出される可燃ごみ、資源ごみ等を委託により適正かつ効率的に収集する。				

実施 (Do)	執行体制							
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	193,367	199,167	203,108	208,780	
			国庫支出金					
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	千円	193,367	199,167	203,108	208,780		
	職員人数 (概算職員数)	人	1.52	1.21	1.80	1.51		
	人件費計 (b)	千円	8,844	5,312	10,385	5,679		
総事業費 (a) + (b)	千円	202,211	204,479	213,493	214,459			
事業費内訳 (千円) R 07 年度		ごみ収集運搬委託料208,780千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			—			—		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	人口 (7月1日時点)	人	—	31,185	30,856	30,566	30,266
	活動指標 (活動量)	委託収集量	t	計画値	7,800	7,800	7,800	7,377
				実績値	7,686	7,417	—	—
	成果指標 (達成度等)	1t当たりの収集経費 (直接事業費/委託収集量)	円	目標値	25,534	26,115	23,800	29,009
実績値				25,913	27,384	—	—	
達成率				101.5%	104.9%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (C h e c k)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過 (過去4年間)	収集業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。			
	課題	平成30年度の大磯町リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、資源ごみ等（容器包装プラスチック、ペットボトル、不燃ごみ等）が大磯町美化センターへ搬入となっている。効率的な収集体制の見直しや収集方法の検討が必要となる。			

改善 (A c t i o n)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持	
		理由	引き続き、事業を継続し、町内の衛生的な生活環境の保全を図る必要がある。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	リサイクルセンターの運用面及び物価高騰等を踏まえ、効率的な収集運搬体制や収集方法の検討を行う。							
		R08年度	リサイクルセンターの運用面及び物価高騰等を踏まえ、効率的な収集運搬体制や収集方法の検討を行う。							
	R07年度改善事項	町民生活に重要なごみ収集業務を円滑に実施するために、近年の人件費に関する給与の増や企業物価指数の増などを踏まえた収集運搬委託料の見直しを図った。								
	記入日									
	令和8年3月23日									

予算事業名	リサイクルセンター運営管理事業				事業番号	05 - 15 - 06						
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月12日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	05	事業開始年度	平成30年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	P 62	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部門	18 廃棄物処理			
			大施策	A 廃棄物処理の推進			
			中施策	(3) ごみ処広域化の推進			
			施策目標	広域処理施設の適正運営			
	事業の概要		根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
			個別計画等	大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画			
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
			目的 (何のために)	平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化により、大磯町と二宮町のごみの中間処理や選別、保管など、リサイクルセンターの適切な運営を行う。			
			対象 (誰を・何を)	全町民			
		内容	リサイクルセンターの運営、管理 大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ搬出するために選別・保管を行う。大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。				

実施 (Do)	執行体制		全部委託					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	150,704	163,354	176,160	178,227	
			国庫支出金	千円	352			
			県支出金					
			起債					
			その他		92,757	83,566	92,990	94,168
	一般財源		57,595	79,788	83,170	84,059		
	職員人数 (概算職員数)		人	1.34	1.12	1.25	1.05	
	人件費計 (b)		千円	7,467	5,312	7,101	4,080	
総事業費 (a) + (b)		千円	158,171	168,666	183,261	182,307		
事業費内訳 (千円) R 07 年度		運営委託料177,777千円、再商品化委託料450千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			資源化率			32.9%以上		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	容器包装プラスチック及びペットボトルの大磯町・二宮町の排出量	t	—	1,013	999	1,150	1,139
	活動指標 (活動量)	リサイクルセンター稼働日数 (プラ・ペット選別作業日)	日	計画値	245	244	245	246
				実績値	245	250	—	—
成果指標 (達成度等)	分別基準適合物引渡し実績 (大磯町・二宮町分)	t	目標値	824	824	860	838	
			実績値	749	730	—	—	
			達成率	90.9%	88.6%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある	
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない	
有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある

過去の外部評価等における指摘事項	—
主な改善経過 (過去4年間)	運営事業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。 R04年度：「大磯町リサイクルセンタートイレ修繕」を実施した。
課題	平成30年度リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、容器包装プラスチック、ペットボトル、不燃ごみ等が大磯町美化センターへ搬入となっている。更に資源化の推進、効率的な運搬を図る。

改善 (Action)

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、リサイクルセンターの運営・管理を通して、更なる資源化の推進、効率的な運搬を図る必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ安全に搬出するため、搬入された廃棄物の適切な処理（選別・保管）を行い施設の効率的な稼働を図る。 また、大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。						
	R08年度	大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ安全に搬出するため、搬入された廃棄物の適切な処理（選別・保管）を行い施設の効率的な稼働を図る。 また、大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。						
R07年度改善事項	搬入された廃棄物の適切な処理及び町外処理施設への安全な運搬の実施や、運営事業者が実施する毎月の定例会において、町民サービス向上に向けた意見交換を行い、施設の効率的な稼働を行った。 また、各収集品目の異物混入率を低減させるため、住民等に対し広報紙等で周知啓発を行い、資源化の推進及び効率的な運営を図った。							
記入日	令和8年3月23日							

予算事業名	し尿収集運搬事業				事業番号	05 - 15 - 07						
細分事業名	—				シート作成日	令和7年8月12日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	07	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	柱	—	
		部門	—	
		大施策	—	
		中施策	—	
		施策目標	—	
	事業の概要	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律
		個別計画等		—
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—
		実施項目名		—
		目的 (何のために)	し尿を適正に収集することにより、公衆衛生の向上を図る。	
対象 (誰を・何を)	くみ取り式便所の町民、事業者等			
内容	一般家庭及び事業者から排出されるし尿を委託により適正かつ効率的に収集する。			

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	42,656	43,930	44,986	46,220	
			国庫支出金					
			県支出金					
			起債	千円				
			その他		2,299	3,625	2,507	2,059
	一般財源		40,357	40,305	42,479	44,161		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.45	0.60	0.60	0.70		
	人件費計 (b)	千円	2,341	5,312	3,255	2,837		
総事業費 (a) + (b)	千円	44,997	49,242	48,241	49,057			
事業費内訳 (千円) R 07 年度		し尿収集運搬委託料46,220千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			—			—		
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	し尿くみ取り件数 (世帯数+仮設くみ取り件数)	件	—	561	468	515	515
	活動指標 (活動量)	し尿収集量	kℓ	計画値	292	256	274	274
				実績値	469	374	—	—
成果指標 (達成度等)	1kℓ当たりの収集運搬経費 (直接事業費/し尿収集量)	円	目標値	151,455	151,455	151,000	151,000	
			実績値	104,993	128,986	—	—	
			達成率	69.3%	85.2%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過(過去4年間)	—			
	課題	公共下水道整備の推進に伴い、対象世帯が減少傾向にあり、収集量は減少傾向にあるが、必要不可欠な事業のため、安全で効率の良い事業運営が必要。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持	
		理由	引き続き事業を継続し、町内の衛生的な生活環境の保全を図る必要がある。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	—							
		R08年度	—							
	R07年度改善事項	町民生活に重要なし尿収集業務を円滑に実施するために、近年の人件費に関する給与の増や企業物価指数の増などを踏まえた収集運搬委託料の見直しを図った。								
	記入日									
	令和8年3月23日									

予算事業名	し尿処理事業							事業番号	05 - 15 - 08			
細分事業名	—							シート作成日	令和7年8月12日			
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	柱	—									
		部門	—									
		大施策	—									
		中施策	—									
		施策目標	—									
	事業の概要	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
		個別計画等		大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画								
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—				
		目的 (何のために)		し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、公衆衛生の向上を図る。								
		対象 (誰を・何を)		し尿及び浄化槽世帯、事務所								
内容		町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥を、し尿処理施設において適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥等については、平塚市ごみ焼却場で処理する。										

実施 (Do)	執行体制		全部委託					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	76,642	72,081	71,321	81,705	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他		40,911	570	37,902	50,700
	一般財源	35,731	71,511		33,410	31,005		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.26	0.62	0.80	0.90		
	人件費計 (b)	千円	1,503	5,312	4,734	3,197		
総事業費 (a) + (b)	千円	78,145	77,393	76,055	84,902			
事業費内訳 (千円) R 07 年度		消耗品費13,860千円、光熱水費26,000千円、修繕料795千円、手数料2,772千円、委託料38,040千円、使用料及び賃借料238千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	し尿及び浄化槽人口	人	—	8,617	8,617	8,814	8,448
	活動指標 (活動量)	し尿及び浄化槽汚泥量	㎏	計画値	5,329	5,329	4,526	4,338
				実績値	6,288	6,213	—	—
	成果指標 (達成度等)	1t当たりの処理経費 (直接事業費/し尿及び浄化槽汚泥量)	円	目標値	8,587	21,667	22,000	22,000
				実績値	7,277	19,860	—	—
達成率				84.7%	91.7%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある	
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない	
有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである

過去の外部評価等における指摘事項	—
------------------	---

主な改善経過 (過去4年間)	<p>R03年度：「トラックスケール定期修繕」「し尿処理施設次亜塩素酸ソーダ送液配管緊急仮設修繕」を実施した。</p> <p>R04年度：「し尿処理施設脱水汚泥ホッパ室下り壁爆裂等補修修繕」「し尿処理施設監視室エアコン設置修繕」を実施した。</p> <p>R05年度：「トラックスケール定期修繕」「し尿処理施設ろ過逆洗水配管緊急修繕」を実施した。</p> <p>R06年度：「し尿処理施設トラックスケール用操作ボックス内プリンタ修繕」「自動火災報知設備総合盤内配線修繕」「美化センター井戸送水管漏水緊急復旧修繕」を実施した。</p>
----------------	--

課題	施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿・浄化槽汚泥の受け入れを行っており、施設更新時期の延期に伴い計画的な維持整備計画を検討する必要がある。
----	---

改善 (Action)

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、し尿等を適正に処理する必要がある。						

課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	現し尿処理施設を適正に維持管理をするため、引き続き運転管理を委託し、水質測定などを実施しながら管理を行う。
	R08年度	現し尿処理施設を適正に維持管理をするため、引き続き運転管理を委託し、水質測定などを実施しながら管理を行う。

R07年度改善事項	現し尿処理施設を継続して運営できるように、水質測定及び必要な修繕等を実施しながら、引き続き委託による運転管理をし、し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理に努めた。
記入日	
令和8年3月23日	

予算事業名	し尿処理施設維持整備事業						事業番号	05 - 15 - 09				
細分事業名	—						シート作成日	令和7年8月12日				
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

計画 (Plan)	総合計画	柱	—			
		部門	—			
		大施策	—			
		中施策	—			
		施策目標	—			
	事業の概要	根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
		個別計画等	大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画			
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
		目的 (何のために)	し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、公衆衛生の向上を図る。			
		対象 (誰を・何を)	し尿及び浄化槽世帯、事務所			
内容	町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥を、し尿処理施設において適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥等については、平塚市ごみ焼却場で処理する。					

実施 (Do)	執行体制		全部委託					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R04年度 (決算)	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	
		財源内訳	千円	37,950	45,760	52,074	45,000	
			国庫支出金	千円	8,174	10,335	9,579	10,447
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	20,993	21,583					
	職員人数 (概算職員数)	人	0.92	0.97	0.90	1.00		
	人件費計 (b)	千円	5,429	5,312	5,325	3,552		
総事業費 (a) + (b)	千円	43,379	51,072	57,399	48,552			
事業費内訳 (千円) R 07 年度	工事請負費45,000千円							

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指標名		単位	項目	R05年度 (決算)	R06年度 (決算見込)	R07年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	し尿及び浄化槽人口	人	—	8,617	8,617	8,814	8,448
	活動指標 (活動量)	し尿及び浄化槽汚泥量	kℓ	計画値	5,329	5,329	4,526	4,338
				実績値	6,288	6,213	—	—
	成果指標 (達成度等)	1t当たりの処理経費 (直接事業費/し尿及び浄化槽汚泥量)	円	目標値	8,587	21,667	22,000	22,000
				実績値	7,277	19,860	—	—
達成率				84.7%	91.7%	—	—	
定性的成果	—							

評価 (Check)

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない	
有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである

過去の外部評価等における指摘事項	—
主な改善経過 (過去4年間)	<p>次期し尿処理施設供用開始予定を令和13年度に設定し、新施設供用開始時期を見据えた計画的な既存施設の維持整備工事に関するスケジュール及び整備内容を検討した。</p> <p>また、受変電設備の変圧器及び進相コンデンサに微量PCBが含有しており、処理期限が迫っていることから受変電設備の令和5年度に設備の入替工事を行うとともにPCB含有設備の処分を行った。</p>
課題	

改善 (Action)

今後の方向性の判断	区分	維持	R06年度	維持	R05年度	維持	R04年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、し尿処理施設の維持整備を計画的に行う必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R07年度	次期し尿処理施設整備に向けた各種調査の計画を定め、新設供用開始時期を見据えた既存施設の適切な維持整備工事を実施する。						
	R08年度	次期し尿処理施設整備に向けた各種調査の計画を定め、新設供用開始時期を見据えた既存施設の適切な維持整備工事を実施する。						
R07年度改善事項	既存施設の適正管理や設備等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引続き整備計画の検討及び調整を行い、各種機器等のオーバーホールなどの維持整備工事を実施した。							
記入日	令和8年3月23日							